

らぶれた

2021年
5月号
vol.78

発行：株式会社ラプロス
発行人：代表取締役 樋口繁樹
〒810-0001
福岡市中央区天神1丁目12番1号
日之出福岡ビル5階
TEL092-737-2211
FAX092-737-2212
弊社のHPは下記URLよりご覧いただけます。
<http://www.lapros.co.jp/>
編集担当：久保山、藤吉

今号のらぶれたー

お待ち
いたしました



2020年7月3日から7月31日にかけて、熊本県を中心に福岡、長崎、また中部地方など日本各地で発生した集中豪雨より被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。コロナ禍での復興は心身ともに負担が大きいかと存じます。皆様の日常、皆様の笑顔が一日でも早く取り戻せますよう、皆で助け合いながら乗り越えていきましょう。

世の中の 新入社員の皆さんへ

新年度、街中で新入社員とおぼしき若者を見かける季節になりましたね。うちの息子より下の世代、色々と父親的な見方になってしまうのですがコロナ禍での就職活動、さぞかし大変だったことでしょう。

コロナ禍で業種業態に関わらず大きなうねりが押し寄せ、企業人も組織の大小関係なくしなやかに対応できる気持ちの若さや柔軟性が求められています。先入観を持たずに真っ白な綿のような吸収力とバネのような弾力で、組織や周辺に化学変化を起こして欲しいものです。

自分の新入社員時代は～と振り返ってみますと、ラプロス起業前に15年間勤めた会社では入社後京都支店に配属、新入社員の頃は完成から8ヶ月経っていた40戸以上在庫のある滋賀県分譲マンションの販売現場で、土日は提携の販売会社の1つ年上の先輩と泊まりがけで1年3ヶ月ほど張り付いて販売活動に勤んでおりました。泊まり込みで販売活動？これ自体が今では考えられない事ですが(^ ^)、当時はパソコンなし、ネットなし、携帯もスマホもなしで通信手段は固定電話とポケベルのみ。

支店に戻れば会社の机には山積みの書類とベタベタ貼り付けられた連絡メモと、あとは電話が置いてあるだけ。提案書や企画書は、企画書箋に鉛筆で手書き、データ引用はコピーを糊で貼り付けてさらにコピー(コピー機があっただけマシですかね)。今の新入社員からみれば石器時代のような想像できない仕事の進め方です。業務効率は今10分の1くらいでしょうか？

でも、時間をかけて覚え、身につけたものはその分長く使えるし、血となり肉となっている気がします。今のようにスマホでネッ



ト検索ができないから、1つの言葉や事柄を調べるにも何秒ではできません。どうアプローチすれば最短で正確な情報に辿り着けるか、いつも知らず知らず訓練していたのでしょうか。おかげ様で複眼的に見たり、少しだけ掘り下げて考える習慣が身に付いたような気がします。

入社時の支店は社員6名で支店長が入社6年目、以下5、4・・・と続き僕までキレイに序列ができていた見事な封建制度？となっていましたね。支店長からタバコを買ってきて！とオーダーがあれば5、4・・・オーダーが伝わり、その分だけ1箱が2、3箱と増え、6人全員在社の時は、自分の分も含めて6箱僕が買いに行く、という漫画のような世界でした。でも体育会系でしたので、その事を楽しんでいる感が皆にも自分にもありました。

少々横道にそれましたが、今や10年単位でなく1年単位で進化するビジネスツール。でもそれはあくまでも仕事の手段であり、若い皆さんが仕事において達成感を得られるかどうかはあくまでも仕事の中身で決まります。社内評価よりも、顧客、取引先から直接頂いたお誉めの言葉で達成感ややりがいを得たいものです。そして、取引先や顧客と信頼関係を築くには社内の信用も築かないと前に進みません。社内や現場の雑務も掃除も無駄なものも1つありません。世の中の新入社員の皆さん、自分の中でのやりがいは選り好みせずにトライしてみる中で必ず見つかるものです。先に頭で考え(やらない理由) (やれない理由) を考えるのは成長したくない、と言っているのと同じこと。まずは体当たりで身体を動かし、動きながら考える習慣を身に付けましょうね！
レッツ～ゴー！



代表取締役 樋口繁樹

今年手に入れたいのもの ～続～

文：山口

今年のらぶれたー新春増刊号にてお話した『今年手に入れたいのもの』というテーマの続編です。お時間がある方は弊社のホームページにて2021年新春増刊号)のらぶれたーをご覧ください。

～前回のあらすじ～

今年私が一番欲しいものは「物」ではなく娘からの「言葉」です。

昨年1月に娘が生まれました。妻の里帰り出産に立ち会い、帰福してからコロナ禍の影響もあり約5ヵ月間娘に会えず、月日が経つごとに会えない寂しさが募っていく毎日。「日はまた昇る」ということで、ついその日がきて6月下旬、妻と娘が帰ってきました！しかし！これは序章にしかすぎませんでした。あれ



はまだ残暑が続く9月頃だったでしょうか。娘が突然、**「ママ」と**言ったのです！パパじゃなくママ！娘に呼ばれて喜ぶ妻を傍らに、私はハンカチを噛みしめるが如く悔しい気持ちでした。「パパ」という言葉が欲しい！それから娘に**「パ・パ！」**と何度も教える毎日でした。

～それから～

それから数か月、「パ・パ！」と毎日教えました。娘の口からは**「マ・マ！」**という言葉しか出てきません。最初は呼ばれることに優越感を感じていた妻からもしだいに憐れみをうけるようになり、悔しさよりも無力感のようなものを感じていました。ただ、呼ばれようが呼ばれまいが娘って可愛いですね。一生懸命口を動かしてしゃべっている姿を毎日眺めていると、いつの間にか**「パ・パ！」**と呼ばれないことなど些細な事のような感じがしてきました。

そして、娘が1歳を過ぎた頃でしょうか。突然、**「パ・パ！」**と言いました！一瞬耳を疑いましたが、



保育園の遠足
福岡市動植物園にて

休日のひととき
福岡市西区
今津運動公園にて



それから毎日**「パ・パ！」**を連呼するようになり、自分は世界で一番の幸せ者ではないだろうかと思ってしまうくらい気分が高揚しました。ここ最近も**「パ・パ！」**を連呼していますが1つ気になることが。妻に向かって**「パ・パ！」**と言うことが多くなりました。ママとパパは紙一重みたいですね。

とにかく今年手に入れたいのものというテーマは、早くも無事達成することができ完結です！？

「らぶれたー」のバックナンバーはこちらからご覧いただけます
<http://www.lapros.co.jp/archives/category/ラブレター>

紀元前より 人が住まう場所

文：赤澤

福岡は歴史的・文化的遺産が数多くあり、埋蔵文化財包蔵地内に建物を建設する際には行政への照会・届け出が必要です。行政にて試掘調査を行い、遺跡が発見された場合は発掘調査が必要となります。その費用は土地の所有者負担となり、数百万円もかかります。

一昨年、発掘調査を行った早良区小田部五丁目と博多区光丘町の調査報告書が完成し福岡市より送られてきましたので、少し紹介させていただきます。

【有田遺跡群・第270次調査】

プロスペリテ小田部五丁目（早良区 標高10m）の現場からは、弥生時代前期（紀元前5世紀～紀元後2世紀）の貯蔵穴の遺構が2基検出されました。



早良区小田部二丁目発掘作業の様子

また、7世紀（古墳時代）～9世紀（平安時代）の掘立柱建物2棟の柱跡が発見され、東側のお隣さん側の建物群へとつながっていたようです。5～6年前に発掘[有田遺跡群・第262次調査]を行った小田部二丁目の現場からは、旧石器時代（紀元前2万年以前）の石器片も発見されていましたので、大昔から人々が生活していたのですね。

余談ですが、戦国時代には「小田部城」が講倫館（旧西福岡高校）付近にあったそうで、時代とともに発展していったようです。その後、江戸時代は小田部村となり、明治時代には原村となり、昭和初期に福岡市に編入されたそうです。



博多区板付遺跡の竪穴住居

【中ノ原遺跡・第6次調査】

プロスペリテ光丘町（博多区 標高22m）の現場からは、弥生時代中期と8世紀（奈良時代）の竪穴建物3棟の遺構が検出されました。

その内の1つは約3.7m×3m、深さ60cmの長方形の竪穴建物で、煙道付きのカマドが付帯していました。遺物はコンテナケース2箱ほどで、須恵器・土師器・弥生土器が出土しました。



博多区
光丘町遺構
中央部全景

プロスペリテ
光丘町
建設前の現場

●中ノ原遺跡(プロスペリテ光丘町)より出土した土器



2物件とも売れ行きは好調でした。昔から人が住んでいた場所なので地盤もしっかりしていて、少し高台になっているため災害にも強い場所です。分譲するためには費用と時間がかかりますが、福岡のまちを築いてくれた昔の人々に感謝をしながら、今日も良い土地を探し続けます。

山森の



～ 外遊び ～

今年は桜前線があつという間に過ぎ去ってしまいました。このらぶれたーが皆様のお手元に届くころにはスーツも夏物の薄手になっている頃かもしれません。

今春もコロナ禍で室内にこもりがちですが、最近（4月上旬）の暖かい気候を肌で感じると外で思いっきり遊びたくなるものです。先日春休み期間中に2人の小学生の息子たちをどこにも連れていけないので、息子たちの幼馴染2人も連れて大人1人+小学生4人で今津運動公園へ遊びに出かけました。春休み最終日だけあって平日にもかかわらず広大な芝生のエリアはたくさんの子供とその親たちであふれておりました。

私自身、久しぶりに広い公園で遊ぶので子どもたちに負けないくらいテンションが上がり、張り切った大人1人の主導でサッカーが始まりました。しかし、子どもと中年の大人の体力には歴然とした差があり、遊び始めて1時間くらいでおじさんだけ休憩タイムでシートを広げて小一時間昼寝。その間も遊び続けている子供たちは水分摂取量も多く、

持参の水筒では足りずにコンビニへ買い出しに行くことに。

みんなで3時のおやつを食べ

て、次は野球を開始。プラスチックバットとカラーボールのソフトな野球のため、大人気なく本気野球をしました。思いっきりバットを振り抜き、本気でランニングホームラン！！と思いきや、日頃の運動不足で股関節痛を発症。守備ではイチローばりのレーザービームをかましたつもりが、ガラスの肩が悲鳴をあげる始末。

久しぶりに運動して疲れたので、子供たちをレジャ



芝生広場でサッカー&野球

◆今津運動公園◆
福岡市西区今津字津本
面積：308,881㎡
●健康運動ゾーン⇒体育館、芝生・アスレチック・ちびっこ広場など。
●スポーツゾーン⇒テニスコート、グラウンドなど
※広い敷地内に設備も充実しています。

ーシートの上でごろごろしながら見守ることに徹していると、いつの間にか寝落ちしてしまい「春眠暁を覚えず」の夕方バージョン的な感じでした。

目が覚めると既に午後5時半。周りにいたたくさんの子連れ親子たちはほとんど帰宅しており、いつの間にか広大な芝生エリアの中ひとりで昼寝状態。

子供たちを探して帰り支度をしましたが、午後1時から計5時間、外で遊んで昼寝をして顔がヒリヒリするくらい日焼けをした健康的な1日を過ごせました。半分寝ていましたが、やはりこの季節の外遊びはいいものですね。



編・集・後・記

久保山

前号に引き続き、福岡の土地の歴史について掲載しています。

普段何気なく生活しているこの福岡の土地にも長い歴史があり、そこには紀元前から私たちと同じ人間の暮らしがあったと思うと、心が熱くなります。

自動車が普及したり、高層のビルが建ったり、生活様式が変わっていく中でまちが開発されるのは時代の流れであり、現在ではインターネットの普及や人工知能AI技術の発展など、時代は目まぐるしく変化

しています。

しかし、今現在地球上で生きていく限り、人は重力により地面の上で日々を過ごすことに変わりはなく、人間が暮らしていくために必要な場所である土地はそのほとんどが自然の産物。もしも先進技術で解決しないことがあったとしたら、それはインターネットやAI技術のなかった大昔にここで生活していた人々が何年もの歳月を積み重ねた土地の歴史に何かヒントが眠っているのかもしれませんが。



ご紹介キャンペーン

ご家族・ご友人をご紹介ください！

5 商品券
万円分

ご紹介者さまにプレゼント！

※ご紹介者さまからの紹介でご成約に至った場合

現在販売中の新築戸建「プロスペリテ」シリーズは

ご紹介キャンペーンを実施中です！

ぜひ、ご家族・ご友人の方をご紹介ください！

詳しい情報につきましてはQRコードから

戸建「プロスペリテ」特設ページでご覧いただけます。 インスタグラムはこちらから→



ラプロスの戸建プロスペリテ
PROSPERITE



新築戸建「プロスペリテ」
特設ページはこちらから→

